

次世代構造技術者の Work in Progress 2026 ポスターセッション

1. 開催趣旨

構造工学シンポジウムにおいて次世代を担う技術者・研究者・学生が交流できる場を設け、若手人財ネットワークの形成だけでなく、構造工学シンポジウムの活性化、ひいては構造工学分野の発展に資することを目的とし、ポスターセッション「次世代構造技術者の Work in Progress」を開催します。

2. 開催日：2026年4月11～12日（土、日）（※構造工学シンポジウム両日開催：web 閲覧+投票）

発表者コアタイム：【1日目】11:45～13:00【2日目】12:00～13:00

投票：【1日目】11:30～【2日目】～13:00

3. 会場：宇都宮大学 8号館 1階エントランスラウンジ

4. 参加費：発表・見学ともに無料（出入自由）

5. 投票（【1日目】11:30～【2日目】～13:00）

印象に残ったポスター発表（3件程度）を Most Impressive Poster 賞として表彰します。

No.	出展者 氏名・所属		タイトル
1	佐々木瑛美	法政大学	スレッドローリングねじを締め付けた鋼板の静的強度と疲労強度に関する検討
2	鏡味詩歩	名古屋大学	斜角を有する槽状桁端支材の力学挙動に関する研究
3	伊集院治輝	広島大学	シザーズ FEM における OC 法と SA 法のハイブリッド最適化
4	佐藤励音	室蘭工業大学	衝突位置を変化させた実規模従来型防護柵の耐衝撃挙動
5	竹内彩夏	施工技術総合研究所	トンネル覆工のはく落抑制試験に用いる試験体の小型化
6	張恒欽	横浜国立大学	地震による橋梁の桁ずれが道路ネットワーク機能に及ぼす影響の評価
7	志水里帆	山口大学	SUS-SM/SMA 間の異種金属接触腐食影響範囲の実験的検討
8	川上英史朗	宇都宮大学	曲げ引張・圧縮下における接着接合部の静的および疲労強度に関する実験的検討
9	富岡桃子	法政大学	横リブウェブ切欠き部を有する取替え鋼床版の局部応力の検討
10	佐々木愛夏	室蘭工業大学	IoT モニタリングシステムを用いた白鳥大橋の地震時挙動
11	大谷倭	キンキ道路（株）	超過洪水による鈹桁橋の流失崩壊事象から学ぶ耐洪水橋梁設計
12	市原創希	法政大学	鋼 I 桁支点部の当て板補修効果に関する解析的検討
13	中村俊太	名古屋大学	疲労き裂進展抵抗を高めた鋼材におけるき裂開口挙動を考慮したき裂進展特性
14	野口遥士朗	法政大学	鋼床版のデッキプレート-閉断面リブ接合部の溶接形状が疲労損傷度に及ぼす影響
15	小西峻太	山口大学	き裂を有する耐候性鋼材上の腐食進展とさび下のき裂検出に関する研究